にちなん
平成28年10月発行　第145号

議会だより

泥だらけ汗まみれ

日南小学校5年生の稲刈り・9月9日

おもな内容

9月定例会…… 2
平成27年度決算…… 4
一般質問（2名）…… 8
委員会活動報告…… 12
どっこい、この町に生きる…… 18

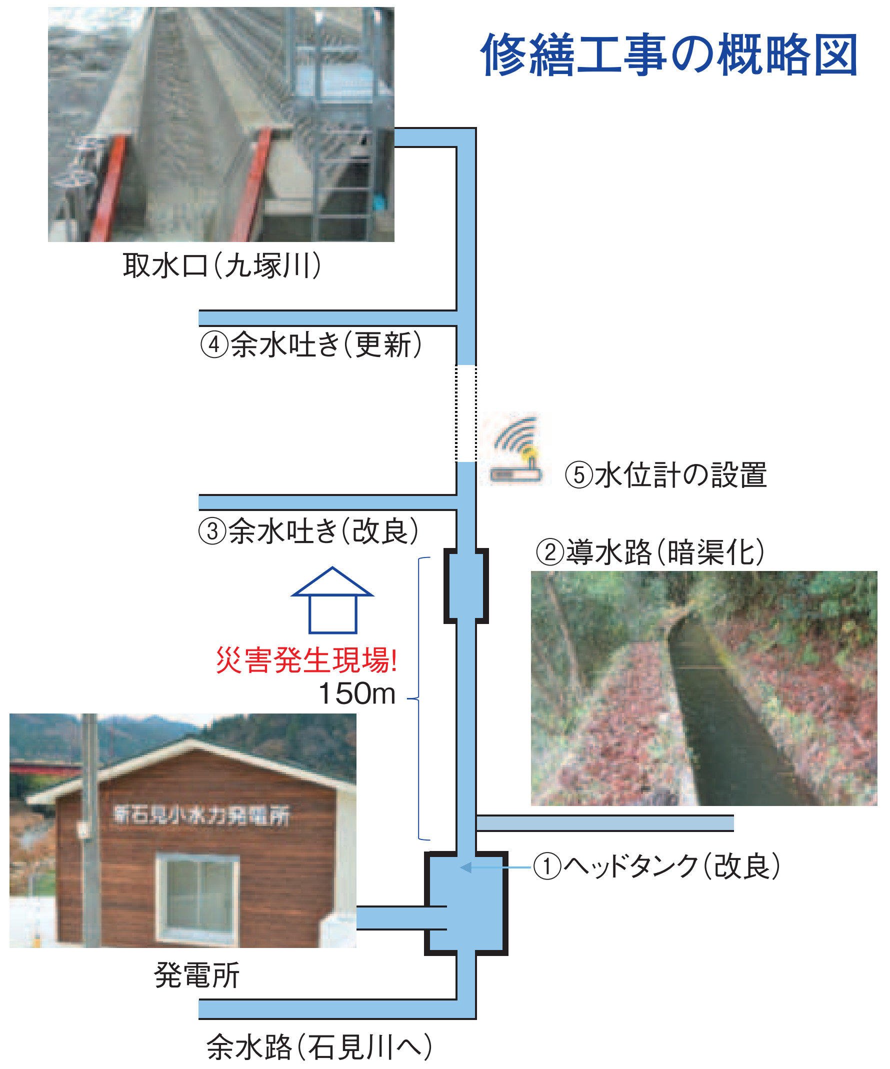
発行／日南町議会　〒689−5292　鳥取県日野郡日南町霞800　TEL（0859）82−1900
ホームページ／http://www.town.nichinan.lg.jp/p/1/15/2/
編集／議会広報調査特別委員会　　印刷／株式会社高下印刷

新石見小水力発電所 改修工事費可決 4,800万円

日南町議会の9月定例会は、9月7日から30日までの24日間の会期で開かれ、初日に行われた一般質問には2人の議員が登壇し、執行部に所信を問いました。
執行部から提案された条例改正、補正予算、平成27年度決算認定など全議案が原案通り可決成立しました。
決算審査の状況については「決算審査特別委員会」の審査報告を載せていますのでご覧ください。

新石見小水力発電所は、修繕のための設計を終え、導水路の暗渠化(150m)やヘッドタンクの改良などの工事が予算化され、来年度の早い時期に発電が開始できるよう工事をすすめることが決まりました。

修繕工事の概略図



補正予算のおもなもの

事業内容	金額(千円)	説　　明
タウンズネット管理運営	11,500	ちゃんねる日南などの地域番組のハイビジョン化対応のため、光伝送装置の設置を整備する
予防衛生一般事務	480	平成28年10月1日よりB型肝炎ワクチンの接種が任意接種から定期予防接種に移行されたことによる公費助成
畜産振興対策事業	3,696	鳥取和牛振興総合対策事業により、担い手の増頭に対する和牛6頭の導入に、県と町で2/3を補助する
道路維持管理事業（下の写真）	30,000	落石危険個所(60ヵ所)に警戒標識の看板を順次設置する 宮田飛時原線の設計委託料
青少年健全育成事業	272	日南町スポーツ少年団の派遣費補助(学童軟式野球)
農業集落排水一般管理業務	4,000	公営企業会計移行にともなう固定資産整理に係る経費の追加
特定地域生活排水処理一般管理業務	4,000	
介護保険特別会計・保険給付事務	▲11,000	居宅介護サービス給付費の見込み額の減による
	▲15,309	地域密着型介護サービス給付費の見込み額の減による
	▲2,000	介護予防サービス給付費の見込み額の減による

町道・奥粟谷線の落石現場

議決したおもなもの

人権擁護委員候補者の推薦同意
後藤厚見（上石見）
任期は平成29年4月1日～平成32年3月31日までの3年間

固定資産評価審査委員の選任同意
丸山栄人（三吉）
足羽一成（霞）
足立福子（阿毘縁）
任期は平成28年10月31日～平成31年10月30日までの3年間

財産の取得
グラップル・ウインチ付バックフォー
契約金額　10,692千円
相手方　福田建機日南営業所
所長　角田清

高性能林業機械で実習する研修生

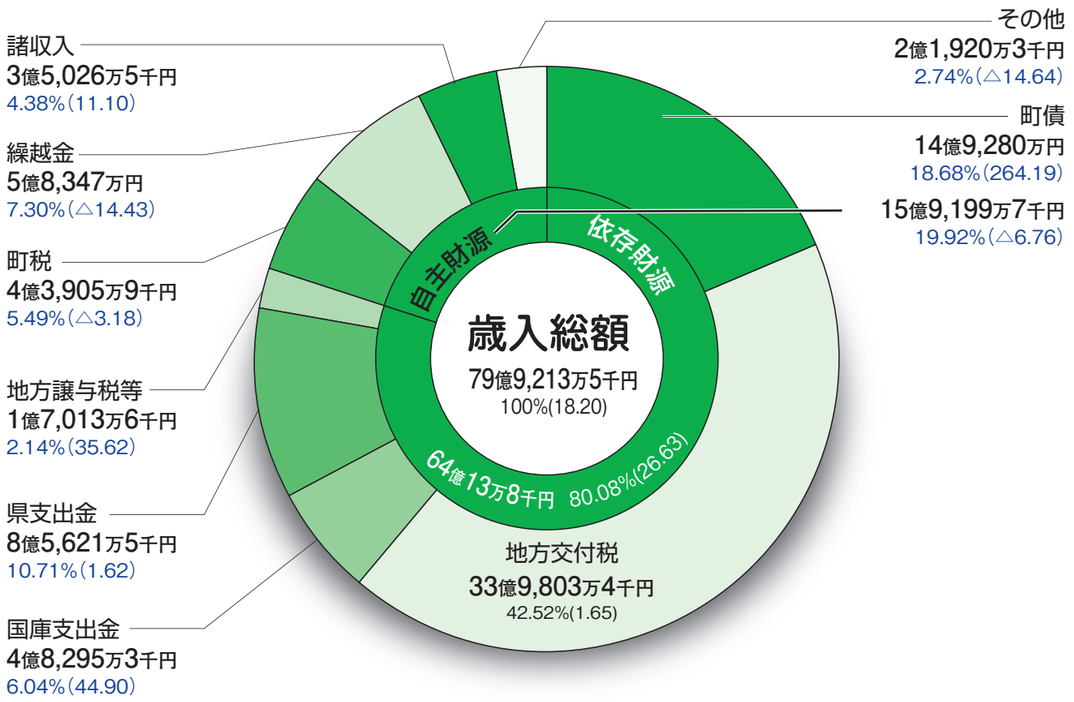
財産の取得
町営バス（中型）
契約金額　18,543千円
相手方　鳥取西部農協
代表理事組合長　谷本晴美

平成27年度

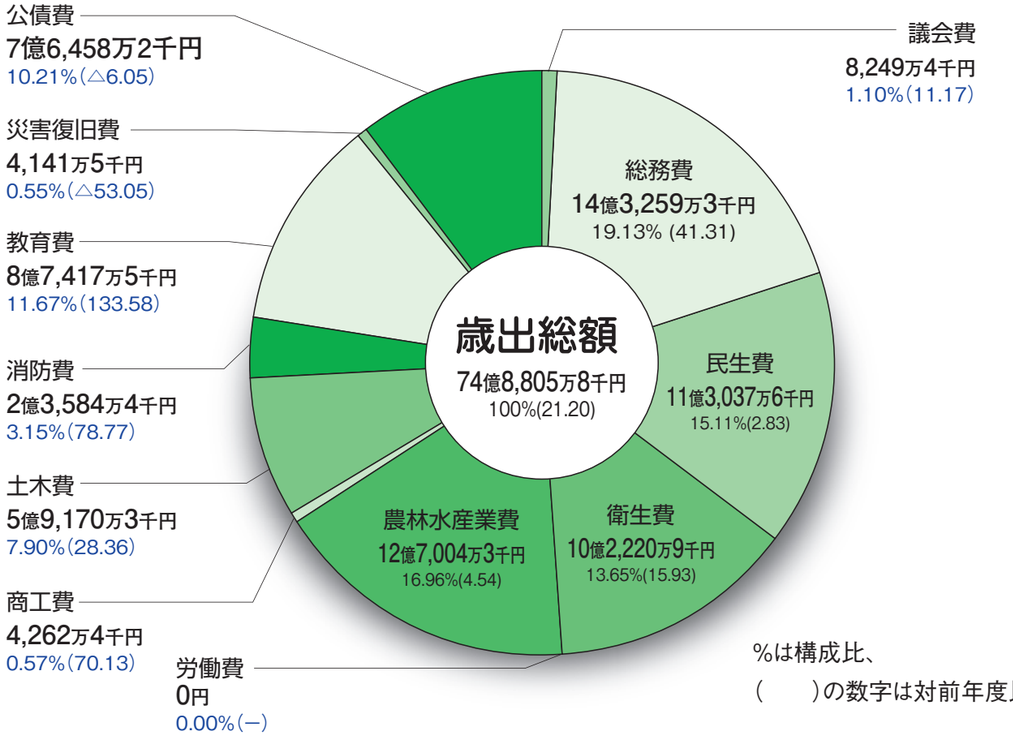
決算認定議案を可決

9月定例会に提案された、平成27年度の普通会計などの決算認定議案は、各会計ごとに賛否が分かれましたが、全議案が認定可決されました。（10ページ参照）

普通会計歳入



普通会計歳出



各会計の決算状況

会計別	決算		差引残額
	収入済額	支出済額	
普通会計	79億9,213万5千円	74億8,805万8千円	5億407万7千円
国民健康保険特別会計	8億1,075万6千円	8億941万0千円	134万6千円
簡易水道事業特別会計	3億5,729万1千円	3億5,246万2千円	482万9千円
農業集落排水事業特別会計	2億3,218万7千円	2億2,851万0千円	367万7千円
介護保険特別会計	10億5,407万0千円	10億1,854万4千円	3,552万6千円
介護サービス事業特別会計	1億8,097万2千円	1億8,097万2千円	0円
後期高齢者医療特別会計	9,435万4千円	9,408万2千円	27万2千円
再生可能エネルギー発電事業特別会計	555万1千円	353万4千円	201万7千円
合計	107億2,731万6千円	101億7,557万2千円	5億5,174万4千円

一般会計決算認定の討論

賛成　恵比奈礼子議員

先ごろの障害者施設の悲惨な事件を見ても人権問題は依然色濃く残っており、人権尊重の町として人権施策の積極的な取り組みは歓迎する。児童生徒のシアトル派遣事業において、外国から日本を見る経験は、将来を担う人材を育てる観点から大きな意義がある。また、予算に沿って適正に執行されている。

反対　久代安敏議員

人権施策の予算執行の経緯は、行財政改革の中でタブー視されてきたもので適正とは言い難い。菅ヶ谷ブロイラーの移管問題も、決算、予算審議で度々指摘してきたにも関わらず進捗が見られない。シアトルへ児童生徒の派遣事業は10名という限られたものであり、全ての子供が対象となるお金の使い方を考えるべき。

日南町病院事業決算状況（平成28年3月31日現在）

収益的収支（税抜き後）	総収益	10億8,726万0千円	借金（企業債残高）	8億4,315万4千円
	総費用	10億8,691万4千円	貯金（利益剰余金）	34万6千円
	純利益	34万6千円		

決算審査意見

平成27年度歳入歳出決算の監査委員意見（要旨）は、次のとおりです。

代表監査委員　石川　賢
監査委員　近藤　仁志

1．組織管理について

平成26・27年度に農業集落排水事業特別会計の合併浄化槽及び新規加入者の下水道料金の調定がなされていなかったため、その債権が未収になるという事案が発生した。併せて一般会計、住宅費の入居、退去に関する不適切な事務処理により敷金返還の遅延、修繕費用の未精算等の不都合も生じている。

また、教育費の遺跡詳細分布事業においては、ずさんな事務処理の為損害賠償の支払いという事態にまで発展している。課・室・係という組織は、チームとして仕事を推進するための制度であり、今一度、原点に立ち返って全職員が信頼される公務員として職務の遂行に当たっていただきたい。

2．地方公会計の導入について

平成27年1月23日付の（「統一的な基準による地方公会計の整備について」総財務第14号）に基づき、本町においても平成27年度に、6,448千円をかけ固定資産台帳（13,140件に及ぶ資産）の整備が行われたところである。

現在の現金主義・単式簿記においては現金のフロー（移動）は厳格に記録されているが、現金以外の資産や負債のストック情報が欠如しているため発生主義・複式簿記により現金主義を補完するという位置付けである。

整備された固定資産台帳に基づき、国が求めている4つの財務書類、**貸借対照表・行政コスト計算書**（損益計算書）・**資産収支計算書**（キャッシュ・フロー計算書）・**純資産変動計算書**（株主資本等変動計算書）を作成していくことになるが、複式簿記、企業会計についての理解を深めて、情報利用者に有用な情報が提供できるよう万全の準備を行っていただきたい。

3．未収金について

平成27年度決算において未収金が全会計の合計額で、4,622千円の増加となっている。

一般会計においては3,211千円の増であり、そのうち町税が2,104千円を占めている。その町税の6割を占める固定資産税は1,871千円である。滞納者のうち3割の人が町外の人であり、この傾向は年々増加していくと思われるのでその抜本的対策が急がれる。

また、使用料及び手数料では住宅使用料が目立っており659千円の増となっている。

特別会計においては国民健康保険税1,118千円、水道料422千円、下水道料・分担金725千円とそれぞれ未収が増加している。

病院事業会計の患者負担未収金も409千円の増となっている。

町税においては徴収率99・1％と高いものの、過年度分11・7％と低く、国民健康保険税についても現年度分97・4％、過年度分15・9％と、町税と同じ傾向にある。

いずれにしても町税や使用料等は行政運営の原資であり、公平、公正、確実に収納されなければならない。

未収金の状況　（単位:千円）

	項目	H27年度	H26年度	増減
一般会計	町税	18,861	16,757	2,104
	内訳 町民税	3,300	3,211	89
	内訳 固定資産税	14,022	12,151	1,871
	内訳 軽自動車税	1,539	1,395	144
	社会福祉費負担金	44	0	44
	児童福祉費負担金(保育料)	577	667	△ 90
	道路使用料	542	0	542
	住宅使用料	3,824	3,165	659
	定住促進施設使用料	110	98	12
	住宅新築資金等貸付金	11,601	11,735	△ 134
	雑入	337	241	96
	合計	35,896	32,663	3,233
特別会計	国民健康保険税	12,439	11,321	1,118
	水道料金	2,899	2,477	422
	下水道料金・分担金	2,122	1,397	725
	介護保険料	1,835	2,337	△ 502
	介護サービス自己負担金	512	512	0
	(介護サービス)施設使用料	54	54	0
	後期高齢者医療保険料	△ 165	144	△ 309
	合計	19,696	18,242	1,454
病院事業会計(患者負担金)		8,269	7,860	409
総合計		63,861	58,765	5,096

※督促手数料は除く

平成27年度財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告

比率名	比率の内容	27年度
実質赤字比率	一般会計、特別会計（公営事業会計を除く）　246,979千円の黒字	黒字で良好
連結実質赤字比率	上記会計+公営事業・企業会計+病院事業　2,381,937千円の黒字	
実質公債費率	借入金の返済額の大きさを指標化し資金繰りの危険度（25%以下）	9.8%で良好
将来負担比率	借入金残高が将来財政を圧迫する可能性の度合い	△106.8%
資金不足比率	公営企業の経営状態の度合い	資金不足なし

日南町の財政は黒字経営であり、将来負担額（8,874,738千円）に対して充当可能財源（11,827,546千円）あり充当可能財源が上回っているため、借入金の返済も将来財政を圧迫する可能性は低いということになります。

また、簡易水道事業、農業集落排水事業、日南病院事業、各会計共黒字経営となっております。

決算審査特別委員会の審査報告

平成27年度一般会計をはじめ各会計の審査をするために設置しました。
（議員全員で構成、委員長:山本芳昭、副委員長:久代安敏）
9月9日から21日までの間で詳細な審査を行い、その結果、いずれの決算議案も次の意見を付して認定すべきと決定しました。

1．未収金について

一般会計、特別会計の一部、日南病院事業会計において前年度に比べ未収金が増加している。「町税等未収金取り組み会議」は年1回しか開催されておらず積極的な取り組みとなっていない。未収金が増加すれば適切に納付している町民に対して公平性を欠く事はもちろん納税意欲にも悪影響を及ぼす事が懸念される。「町税等未収金取り組み会議」において対策を検討・実行し、未収金減少の実績を求めたい。

2．主要施策の成果及び財産に関する調書について

監査意見においてPDCAサイクルの重要性が指摘されているが、現在の調書ではDo（実行）とCheck（検証・評価）が一つになり事業実施状況の記載となっている。成果指標の達成度を例えばABCで表すなど評価欄を設けることによって、Check（検証・評価）を明確化でき、次年度以降の事業計画をAction（改善）することが容易となる。PDCAサイクルを確立し、有効な予算執行を行うためにも調書の改善を求めたい。

3．観光振興対策事業について

地域づくりアドバイザーから新しい企画の提案がされておらず、またその活動に地域的な偏りがみられる。総てのまちづくり協議会に積極的に出向いて活動をされたい。

また地域づくりアドバイザーの業務が観光に重点を置くもので良いのか、この制度を続けるかどうかも含め再検討すべきである。

4．企画一般管理事務　鳥取大学との連携事業について

単なる学生のフィールドワークの場所提供ではなく、日南町として希望する調査研究テーマについて、一年限りでなく継続した取り組みを求めたい。大学との日程調整等が主な業務であるが職員派遣は必要ない。

5．環境保全対策事業について

環境審議会は環境施策を調査審議する重要な機関であるが、年1回しか開催されていない。環境基本計画及び環境実行計画の着実な推進のために審議の充実を求める。

環境立町推進協議会へ支出されている補助金の使途は、協議会本来の活動趣旨とは言えない。環境学習と実践を広く町民に啓発していくために、きめ細やかで地道な活動が求められる。活動内容の見直しと住民主体の組織へ改革すべきである。

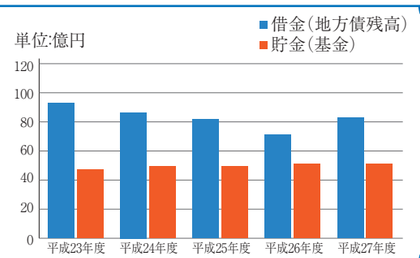
「まめな水」を平成23年度から年間3000本製品化し、平成27年度までの販売分が約5500本、視察等利用分が7100本となっているが、中途半端な活用状況となっている。今後の事業展開について廃止を含め見直すべきである。

6．林業一般管理事務　日南町山村情報事業業務委託料について

NPO法人へ山村情報事業業務を委託されているが、山林情報収集は電話調査10件、訪問調査7件のみであり、十分な調査とは言えない。また林業・地域情報の発信のため「日南の森だより」を毎月発行しているが年間発送部数は約3000部程度である。事業目的を達成するため委託を見直すべきである。

日南町の借金・貯金はどれだけある?

平成27年度末の日南町の借金は、82億5,582万円あります。
（一般会計、特別会計の合計額。ただし、病院事業会計は除く）
貯金（基金）は、55億3,448万円あります。町民1人あたりで計算すると、借金は1,646,553円です。
町民1人あたりの貯金は1,103,801円となります。
（人口は平成28年3月31日現在5,014人）



一般質問 問と答

大西　保議員

問 日南町人口ビジョン・総合戦略の評価

①27年度の達成値及び自己判定を見て、町長はどのように感じたのか。

②特に課題と思われる「具体的な内容」の項目について、町長から何らかのコメント及び見直しを指示したのか。

③総合戦略第三者評価委員会の委員は、何名なのか。

答 増原町長

①事業実施1年目の今の段階で、既に事業状況に差が出ている。一つ一つの事業を確認したところ、一生懸命頑張っている所があればそうでない所もあるが、一年目としては良く頑張っていると思っている。

日南町の総合戦略については4つの柱からなっており、これら4つの柱は必ず実現させなければならない。進んでいないもの、あるいはKPIが達成出来ていないものについては問題点をはっきりとさせ、今後の事業実施を進めていく。

②地方創生において人口増加というものは最も重要な位置づけであり、移住・定住分野については特に意見を付したところである。具体的には、KPIの目標値の是正と、取組内容そのものについての軌道修正である。KPIの目標値でUターン者数が5年間でこの度30人と低い設定値で策定時より問題視していた。この度目標値を上げるよう指示をした。全般的な指示としては、お互いの課できちんと連携をしながら進めるという点を指示した。

③産・官・学・金・労・言の方々を交えた14名の委員から構成されている。委員の皆さんの積極的参加で全員が出席した。

問 第三者評価委員会での評価結果

①委員会では、取組み結果の説明と委員からの意見や提言があったが、委員会としての評価はどうだったのか。

②委員会の開催時期はいつ行うことになっていたのか。

③実施に当たっては、年度毎の計画を整備することになっているが、年度ごとの数値はあるのか。

答 中村副町長

①初めての会で時間が足らなかった。意見や提言をいただき委員から了解を得たと思っている。議決までは採っていない。次回に検討する。

答 山中専門監

②計画では4から5月となっていたが、取りまとめが遅れ8月の開催となった。

③年度毎の数値は決めていない。今回の委員会の進め方等につき問題点があったので、終了後にすぐ反省会を開催し今後の進め方について検討した。

第三者評価委員会（8月19日）

久代安敏議員

問 評価委員会に提出された意見をどう政策に反映するのか

答 事業の相関性をはっきりさせ職員が何をやるべきかを明確に

問 地方創生

①まち・ひと・しごと創生法に基づいて昨年8月20日に策定された「総合戦略」を確実に達成することを目的に「第三者評価委員会」が過日開催された。評価委員会に提出された内容と、委員から出された質疑、意見をどのように政策に反映するのか。

②日南町人口ビジョンのシュミレーションは、2040年までに24年あるが、日南町の人口が減少して来た理由と創造的過疎の根拠となる計画はあるか。

③農林業研修生が農業だけでは大変厳しく、農林業以外の仕事をしないとやっていけない状況で安定して生活できる施策はあるか。

④第三者評価委員会にて観光戦略を検討されたのか。文化・芸術の交流が総合戦略にかけているのでは。

⑤5年間の計画見直し点検が必要では。

⑥総合戦略とは関係なく、介護・医療人材不足問題など、近々の問題を早急に解決して安心・安全の町にして行く必要があるのでは。

答 増原町長

①主としては、複数ある個別事業の相関性をはっきりさせながら進めていくという点である。総合戦略を効率的かつ効果的に進めていくためには、整理をしなければならない事項であり、まずは、自立改革推進本部を中心にそれぞれの事業の相関性をはっきりとさせ、職員それぞれが何をやるべきなのかという点を明確にし、お互いに連携を密にしながら進めていく。

②人口が減ってきた理由の一つに日南町の産業構造がある。昭和30年代に山で食えなくなったのと、農業が機械化により、人手がいらなくなった。もう一つは都市が人を求めた。それと、年間の出生数が20名前後で推移し、亡くなる方が130人位で差し引き110名位の自然減が当面続くが、現在Uターン者が増えている

③トマト加工をして、6次化は難しい。農業・林業プラスXを広く提供。たとえば、農業プラス除雪で成り立っている方もいる。一番良いのはやはり専業農業で販売形態を沢山持つ事だ。今農林研修生が定着してもらえるのか担当課とも話をしてみたい。

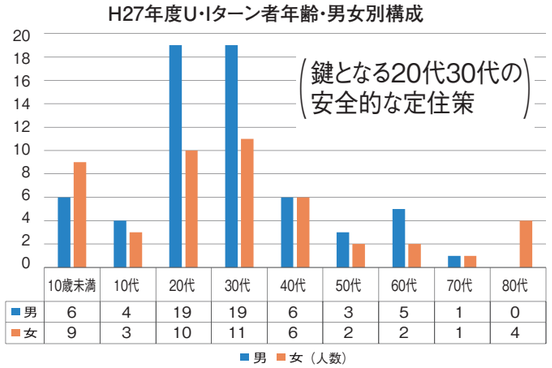
答 山中専門監

④日南町の自然を全国の人に知って貰い、移住定住に繋げたい。また、観光の趣味・志向が変わってきている。今は現地に来て何が体験・体感できるかが観光の主流になっている。

答 町長

⑤見直すところは見直して、予算を使える物にはしっかりと使い伸ばしていきたい。

⑥日常やっている仕事が、地方創生に繋がって行くと思っている。



9月定例会審議結果と議員ごとの賛否内訳

賛成＝○　反対＝×

議案名	結果	足羽覚	恵比奈礼子	（欠員）	古都勝人	山本芳昭	大西保	坪倉勝幸	近藤仁志	荒木博	久代安敏	福田稔	村上正広
平成28年度 補正予算													
一般会計（第3号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
農業集落排水事業特別会計（第2号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
介護保険特別会計（第1号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
一般会計（第4号）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
平成27年度 決算認定													
一般会計	認定	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	－
国民健康保険特別会計	認定	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	－
簡易水道事業特別会計	認定	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
農業集落排水事業特別会計	認定	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
介護保険特別会計	認定	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	－
介護サービス事業特別会計	認定	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	－
後期高齢者医療特別会計	認定	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	－
再生可能エネルギー発電事業特別会計	認定	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
病院事業会計	認定	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
その他の議案													
人権擁護委員候補者の推薦にあたり議会の意見を求めることについて	適任	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
固定資産評価審査委員の選任につき同意を求めることについて（丸山栄人氏）	同意	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
固定資産評価審査委員の選任につき同意を求めることについて（足羽一成氏）	同意	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
固定資産評価審査委員の選任につき同意を求めることについて（足立福子氏）	同意	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
財産の取得について（グラップル・ウインチ付バックフォー購入）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
財産の取得について（中型路線バス購入）	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
陳情													
保育士の処遇改善並びに職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める陳情書	趣旨採択	×	×	－	×	×	×	×	×	×	×	×	－
		（原案に対しての賛否）											
決議													
参議院選挙の合区の見直しに関する決議	可決	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－

※村上正広議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。ただし、採決で賛否が同数となった場合は「議長裁決」という形で賛否表明をします。

請願・陳情の審査結果

提出のあった陳情は、9月定例会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審査意見	本会議
保育士の処遇改善並びに職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 会長　石井由加利	全国的な待機児童の問題や保育士の処遇改善の要望は理解できるが、本町の保育行政には馴染まない。	趣旨採択

参議院選挙合区見直し決議

9月定例会で、参院選挙区の合区見直しを求める決議を可決し、
国会や各政党議員に要請しました

参議院選挙の合区の見直しに関する決議

参議院の選挙制度は、いく度かの制度改正を経て、現在の選挙区選挙と比例代表選挙による選挙が行われているが、地域代表としての各都道府県単位の選挙区という制度は堅持されてきていた。

今般、憲政史上初めて都道府県を越えた合区による選挙が実施されたところであるが、意思形成を図る上で都道府県が果たしてきた役割を考えたとき、都道府県ごとに集約された意思が参議院を通じて国政に届けられなくなるのは非常に問題であるとともに、地方創生に逆行しているとの批判もあるところである。

我が「鳥取県及び島根県選挙区」においては、過去最低の投票率となり、また、自県を代表する議員が出せなかったことなど、合区を起因とした弊害も顕在化したところである。

国においては、昨年の改正公職選挙法附則第7条において、「平成31年に行われる参議院議員の通常選挙に向けて、参議院の在り方を踏まえて、選挙区間における議員1人当たりの人口の較差の是正等を考慮しつつ選挙制度の抜本的な見直しについて引き続き検討を行い、必ず結論を得るものとする。」とされている。

日南町議会は、この参議院選挙制度の抜本的見直しにあたっては、国と地方が一層連携を強め、地方創生を推進していくためにも、単に人口の多寡にかかわらず、地方の意見を十分国政に反映できる地方創生にふさわしい仕組みを構築すべきであり、合区を見直して都道府県単位による代表が国政に参加することが可能な選挙制度とされるよう、強く要請する。

以上、決議する。

議会あらかると

いま問題になっている政務調査費とは…

政務調査（活動）費とは、地方議会議員に、毎月の議員報酬とは別に、「議会の審議能力の強化を図ること」を目的に交付されるものです。それぞれの議会ごとに条例を制定して交付されることになっていますが、**日南町議会では、議員報酬以外の政務活動費は交付されていません。**

ただし、議員の調査研究活動や町政の課題などに資するために、毎年あらかじめ議決した予算の範囲内で先進地への行政調査（議会だより「行政調査報告」14・15ページ）や議員研修を行っています。

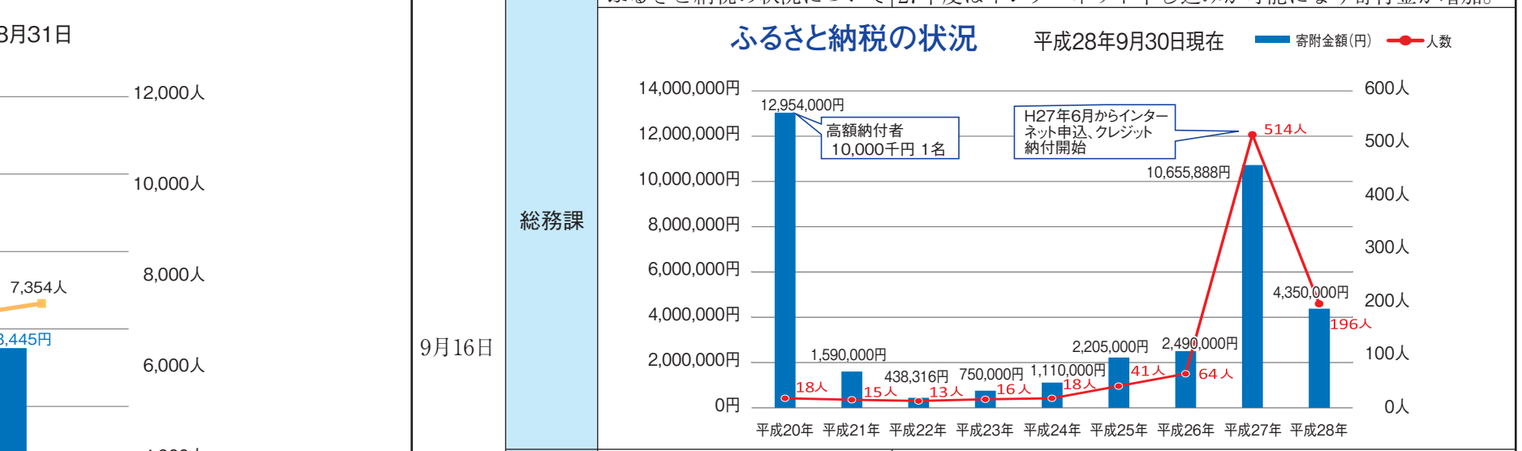
全国の町村議会で政務調査費に関する条例を制定しているのは、928町村の内192町村（20・7％）で、議員一人あたりの交付額は月額換算で平均約二万円です。

いずれにしても、公費の使途に、虚偽や不正は地方議会人としてあってはならないことです。

常任委員会報告

総務教育常任委員会

	担当課	調査及び報告事項	結果及び意見
7月13日	教育課	日南小学校・中学校の学校訪問	教育委員と小中学校の授業参観を行い、その後学校管理職を交え意見交換を行った。
8月25日	企画課	チャンネル日南のハイビジョン化について	日南町、伯耆町、南部町の三町共同で行うハイビジョン化工事の説明を受けた。
		ICOCA（イコカ）の導入について	年内には生山駅でもICOCAが使用可能になるとの報告を受けた。
	住民課	新石見小水力発電所水路復旧工事について	発電所事故について中四国産業保安監督部への報告内容とヘッドタンクの改修案について説明を受けた。
9月16日	総務課	ふるさと納税の状況について	27年度はインターネット申し込みが可能になり寄付金が増加。
	住民課	環境保全対策事業の実施状況について	環境審議会の名簿、活動記録等について、老朽危険家屋の申請数、若松鉱山には低濃度PCBを含む機器が29台ある事等の報告。まめな水は今後一本化していきたいとの説明を受ける。
		日南清掃センター現地確認	清掃センター工事計画及び浄化槽保守点検の内容について調査した。
	教育課	総合文化センター会館20周年事業の実施について	合計入場者数、入場料及び費用についての報告を受けた。



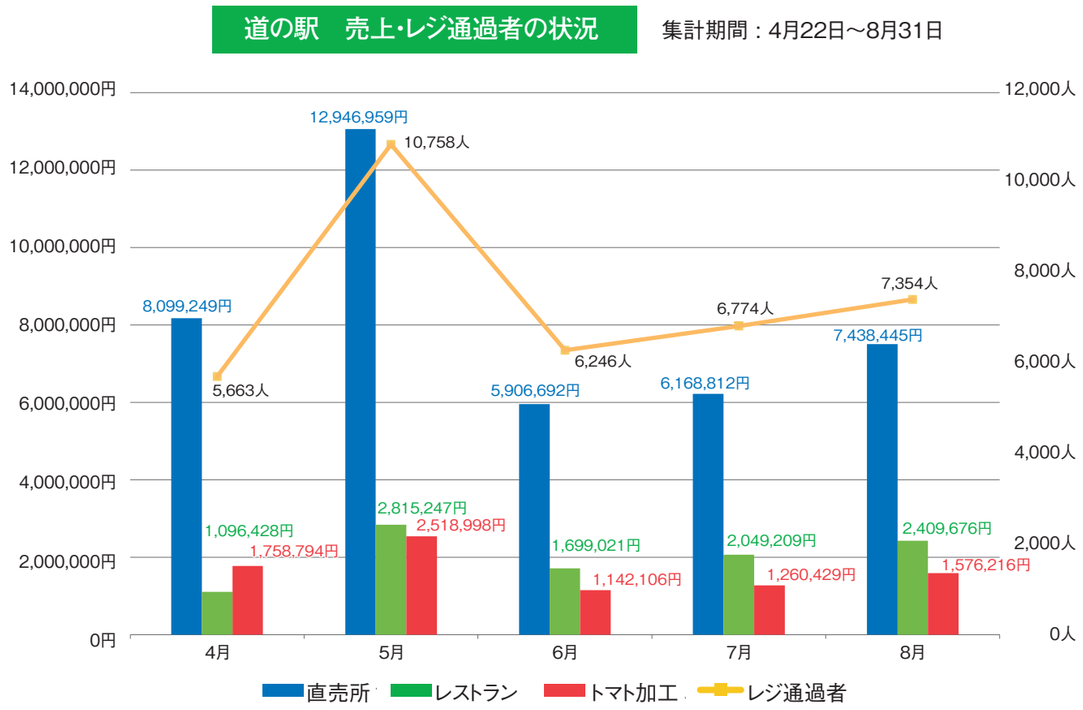
経済福祉常任委員会

	担当課	調査及び報告事項	結果及び意見
7月14日	農林課	新規就農者支援・認定農業者支援･林業後継者支援について	農業後継者育成事業予算・林業後継者育成事業予算等の説明と各支援事業の利用状況について報告を受けた。
8月29日	日南病院	日南病院アンケート結果について	整形外科の待ち時間が長い為、予約制の導入。意見として整形外科及び小児科の医師を確保し、外来者を増やして欲しい。
	農　業委員会	農地パトロール	農業委員と花口地域の耕作放棄地を調査
9月12日	委員会	陳情審査	委員会に付託された陳情１件の審査を行った。
10月11日	農　業委員会	農業委員会との意見交換会	山寄せの農地が特に荒廃し易く、どれだけの農地を地区に残していくのか話し合いが必要。

特別委員会報告

中心地域整備に関する調査特別委員会　9月26日

担当課	調査及び報告事項	結果及び意見
企画課	道の駅アンケート結果の報告	アンケートに記された意見への対応。地域別来駅者数、売り上げ、施設利用者数。直売所売り上げ金額、品目別売り上げ比率などの報告を受けた。
農林課	冬季間の出荷体制について	冬季間は野菜の出荷が減少するので加工品の展示スペースを広げる。手工芸品の出荷を増やす。餅や米などはイベントを打ちつつ売り上げを伸ばす。野菜生産については出荷者協議会と協議していきたいとの説明を受け協議した。



議会基本問題調査特別委員会

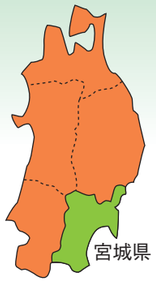
議会基本問題調査特別委員会では、議員定数のあり方の検討を始めています。去る8月25日には山陰法科大学院の磯村篤範教授を招いて勉強会を行いましたが、議員定数についてはさまざまな考え方があることを改めて認識しました。

今後は、10月に開催する議会報告会･意見交換会で住民のみなさんの意見を直接聞く機会を設けることや、11月には「住民アンケート」を配布して議会としての結論を導くための参考にしたいと考えています。

みなさんの率直な意見をお寄せいただきますよう、よろしくお願いします。

議員定数についての勉強会（8月25日）

行政調査報告



総務教育常任委員会

総務教育常任委員会（委員長・山本芳昭）で、東日本大震災の被害状況と今後の防災対策、避難所として体育館等の公共施設を利用する際の課題及び議会の災害時の対応について調査を行いました。

1．視察先
宮城県石巻市

2．調査期日
平成28年7月27日から28日（2日間）

3．調査概要
(1)人口16万人の石巻市における東日本大震災の被害状況は、死者数3，178名。行方不明者数422名。避難者数は最大時約5万名。被災住宅は全半壊約3万棟。想像を絶する被害に見舞われた。

大震災後、防災対策として「守る・逃げる・伝える」を念頭に置いた津波避難体制の整備を進めている。「守る」とは津波対策として二線堤防、津波にも耐える高さの防潮堤。災害用備蓄品の整備を行う事。「逃げる」とは津波避難ビルの指定、津波避難タワーの整備。高台避難道路の整備を行う事。「伝える」とはPC・スマホ・タブレットなどから災害に関する情報を確認できる配信システムの導入。また衛星電話を孤立集落、総合支所等に設置し、PHS電話を学校に整備。また防災ラジオ、緊急速報メール等の災害情報伝達手段の多層化も行っている。

(2)避難場所として体育館等の公共施設を利用する際の課題であるが、収まりきれない数の避難者があり、避難所の運営主体、毛布や食料の手配、避難者名簿や安否確認、避難行動要支援者の支援等々従来の避難所運営マニュアルでは対応できなかった。

大震災後の取り組みとして、避難所は常日頃から複数の場所を想定し災害時の避難所運営等の協力体制構築のため地域防災連絡会を設置。要支援者の名簿は行政区、町内会で作成し介護施設との協定も結んでいる。食料や水、簡易トイレも備蓄しているが民間の業者とも協定を結んでいる。体育館等を避難所とした場合電気の大切さを痛感したとして、太陽光発電施設と蓄電池を設置している。

(3)議会の災害時の対応であるが、市が出来る限り災害対策に専念するため「石巻市議会東日本大震災対策会議」を設置。議員個人からの市への要望は緊急の場合を除き対策会議に提出することを申し合わせた。議会及び議員がとるべき基本姿勢として「石巻市議会災害対応指針」を策定。また、災害対策本部と連携して災害対応にあたるため、「石巻市議会災害対策会議設置要綱」を定めている。平成26年に、「石巻市防災基本条例」を制定し災害に強いまちづくりを目指している。

翌日、震災後の石巻市内を視察。地震発生後5年を経過し、堤防や道路工事等盛んに公共事業が実施されており徐々に復興が進んでいる印象であった。

震災後の大川小学校跡地を視察

全校生徒108名中74名の児童と10名の教員が亡くなった大川小学校を訪ねた。元教員で大川小学校に通う娘を亡くされた方が「山の方の学校も皆避難していた、なぜ避難しなかったのかと思うが、子供たちを守れなかった無念さを抱え先生達も亡くなったと思う。」と言う言葉に目頭が熱くなった。

4．考察
災害発生時において最も強調されたのは「とにかく避難」する事であった。本町でもすでに自治会毎に防災マップなど防災計画の作製に取り組んでいるが、避難所を複数想定し繰り返し訓練を行い、問題点を見直す事が重要である。避難所として体育館、学校等を利用する場合、施設の運営責任者、住民や要支援者の名簿作成、安否確認を誰が行うのかなどの体制整備が必要である。また、電気の重要さを指摘された。今後整備される施設においては太陽光発電と蓄電池の設置を検討すべきである。

災害時の議会の対応であるが、日南町議会「災害対応指針」や「災害対策会議設置要綱」の策定を検討すべきだと考える。

経済福祉常任委員会

経済福祉常任委員会（委員長・久代安敏）で、東京農業大学との共同「山村再生プロジェクト」、遊休荒廃地の解消対策「信濃霧山ダッタンそば」、移住定住対策と子育て支援策、「道の駅あおき」運営状況について調査を行いました。

1．調査先
・長野県長和町
・長野県青木村

2．調査期日
平成28年7月27日から28日（2日間）

3．調査概要
(1)長野県長和町の「農業振興について」
長和町の「山村再生プロジェクト」は、同町と東京農業大学が共同で行い、交流が始まってから20年以上経過している。

平成23年度からは大学と町との独自の共同プロジェクトとして継続的に実施。その目的は、遊休荒廃農地の活用と地域伝統文化の再生を通して地域再生・活性化を目指す。

町は、東京農業大学教育支援協議会を設置し支援体制を作り、学生からの提案事項の検討や意見交換を行う体制を作っている。また、学生の宿泊費の補助、特産品開発委託等行い、毎月2泊3日の日程で20～30名の学生が来町している。

農事組合法人が生産から加工販売まで一貫して取り組む「信濃霧山ダッタンそば」は、平成17年から標高800m～1，400m地帯で栽培を行い、現在では37ha、40tと年々耕作面積を広げて、遊休荒廃地の解消と地域の活性化へ向けて積極的に取り組んでいる。

平成19年、ダッタンそばの共同生産と特産品開発研究、高付加価値農業の展開と地場産業の振興をすすめるために「信濃霧山ダッタンそば生産組合」を設立。平成22年、町がダッタンそばの加工直販施設を建設し、運営を委託。生産組合は6次産業化の認定を受け、ダッタンそばの多様な加工を行い、平成26年10月に完成したダッタンそば専門のレストランで営業販売。

直営レストラン「緑の花そば館」を視察

(2)長野県青木村の「子育て支援策」
日本一住みたい「村」ランキング1位の青木村は、「村の子供は村で育てる」を合い言葉に、保小中一貫教育で保育園も教育委員会の所管である。

次世代育成支援行動計画「あおきっこはぐくみプラン」を基本に「子育てサポーター倶楽部」での議論や実践、「あおきっ子教育ポイント5か条」を共通認識として、子育て支援策を行い、切れ目のない少子化対策事業を行っている。

「道の駅あおき」は閉店したパチンコ店を改修して平成16年にオープンした農産物直売所をベースに、翌17年に道の駅を開設。その後、食堂施設、農産物加工施設が整備され、平成27年には、隣接地にヘリポートなど防災機能を有した多目的な公園「ふるさと公園あおき」を整備している。

地方創生拠点機能はゲートウエイ型として体験・交流学習、特産品の開発・継承および高齢者宅配サービス等の拠点機能を新設、拡充、ドクターヘリによる救命緊急患者搬送拠点、大規模災害時での自衛隊等の参集可能な防災拠点としての機能の強化をコンセプトとして、平成27年に国の重点道の駅に選定され、道の駅あおき高機能拠点化プロジェクトがスタートしている。

管理・運営は、「(株)道の駅あおき」が行っているが、平成27年度の実績は、直売所1億4500万円、食堂2800万円の売上。

4．考察
農業先進地である長野県の長和町、青木村ともに、首都圏から約2時間という交通アクセスの優位性はあるが、遊休荒廃農地対策、特産品開発、道の駅の運営など農業・農村における環境の厳しさを克服する道は本町と共通している。

また日南町も新しく、移住・定住対策を地方創生の総合戦略プランと一体にすすめるためにパンフレットを作成することになっているが、今年度から始まった保育料の完全無償化などの子育て支援策を分かりやすく作成して積極的に町内外にアピールすることが急がれる。

日野町江府町日南町衛生施設組合の汚泥再生処理センター新施設工事　順調に進む

日野町江府町日南町衛生施設組合とは

日野郡３町の、し尿及びごみの共同処理を行うことを目的とする一部事務組合です。この組合は昭和３９年７月に設立し、本町は、し尿の共同処理を目的に、昭和４６年10月に加入しました。

衛生施設管理組合議会の主な議会構成

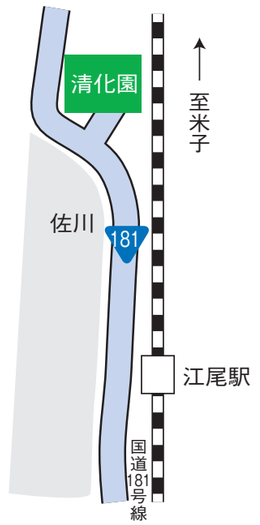
◆管理者（白石祐治江府町長）　◆副管理者（増原聡日南町長、景山亨弘日野町長）
◆議　長（中原明日野町議会議員）　◆副議長（荒木博日南町議会議員）
◆組合の議会の議員の定数は9人とし、組合町ごとに各3人を選出。
日南町選出議員は、荒木博議員、足羽覚議員、大西保議員。

し尿処理施設「清化園」（江府町佐川）の老朽化に伴う新施設の建設

○目　　的　「清化園」（１９６４年設置約５０年）の老朽化と、下水道や農業集落排水設備の充実でし尿が減り、汚泥が増える環境変化に対応する為と、環境に配慮した施設とする。
○事　業　費　１６億１８００万円（日南町負担率約３８％）
○処 理 方 式　膜分離高負荷脱窒素処理方式
○資源化方式　リン化合物回収・・・農作物の肥料として利用
助燃剤化して、焼却炉等の補助燃料として利用
○着 工 時 期　平成２６年　６月　８日
○竣 工 時 期　平成２９年１１月３０日
○処　理　量

し　　尿	3.0 KL/日
浄　化　槽　汚　泥	3.4 KL/日
集 落 排 水 処 理 汚 泥	4.7 KL/日
公 共 下 水 道 処 理 汚 泥	3.9 KL/日

○構 造 概 要　鉄筋コンクリート造（地下１階、地上２階）



（完成予定図）

（現在の工事状況写真）

第5回臨時会　8月9日

補正予算額1,483万円

木質バイオマスエネルギー資源の活用のための調査費を可決

どう活かす山の恵み

①事業の目的
（公益財団法人）イオン環境財団の補助金を財源として実施するもので、日南町で木質バイオマスエネルギーの導入を推進、拡大していくための事業可能性調査・計画策定を行うものです。

②賦存量調査および実現可能性調査
現在、利用間伐を中心として活発に施業がすすめられていますが、今後は皆伐も本格化してくると考えられます。その際、重要なのは中長期的に見て地域の森林の持続可能性と生物多様性に配慮した利活用ができるかどうかで、本町や周辺地域の林業・林産業実態を反映した賦存量と利用可能量の詳細設計を行うものです。

③希少動植物の実態調査
県内の素材生産量約19万㎥のうち9万㎥を日南町で生産しており、環境保全と生態系に配慮しつつFSC森林認証を取得している森林から搬出されています。これからの林業には「環境」をテーマとする経営が求められることから、綿密な希少動植物の調査も合わせて行います。

補正予算で、あたらしく始まった「にっこりサロン〜ヘルス編〜」

（母子健診相談指導事業 40万円）

子育て支援センターで毎月1回、小児科医師を講師に招き、座談会および子どもの医療に関する個別相談会を開催する。

子育て支援センターで相談を受ける小田先生

時間：いずれも14時〜15時45分

	開催日	座談会内容
第1回	終　了	
第2回	10 /31(月)	予防接種について
第3回	11 /14(月)	感染症予防について
第4回	12 /12(月)	発熱や嘔吐・下痢の対処について
第5回	1 /23(月)	子どもの発達や発育について
第6回	2 /13(月)	子どものちょっと困ったくせについて
第7回	3 /13(月)	ケガと応急処置について

おだ　めぐみ
小田　慈 先生

【プロフィール】
鳥取市出身。現在は、岡山市在住。岡山大学名誉教授、新見公立大学特任教授を務めながら、新見中央病院小児科にて週2日診療にも携わる。

条例の一部改正

三吉地区水路災害等に対する損害賠償が発生したことによる特別職の減給

日南町の特別職の給与の特例に関する条例の一部改正が提案され、町長、副町長、教育長の給与を３ヶ月間減額することを議決しました。
減額された金額は、特別職合計で1,290千円となります。

役職	減額率
町　長	30%
副町長	20%
教育長	10%

インタビューシリーズ

道どっこい、この町に生きる草

優先する共通の価値観が日南にあった

矢吹　健太郎さん・かおりさん（福万来）

健太郎さん19歳の時、平成20年「きこりツアー」に参加して一週間ほど日南町を体験しました。そして21年ゆきんこ村での交流会にも参加、その席でアップファーム高橋代表から仕事を手伝ってくれないかと懇願され22年3月に移住しました。27年よりエコファーム細屋に就職先は変わりましたが米作りに頑張っています。

かおりさん22年7月健太郎のお母さんのグループと「隠岐ツアー」に参加、途中日南町に立ち寄ったのが最初の出会いです。

健太郎さん僕が一目惚れしました。帰ってからは電話で猛アタック。

かおりさん前から都会は窮屈と考えていた部分もあり、米作りのできる人ってかっこいいナとか、仕事でこんがり日焼けして活き活き暮らしている姿に憧れるようになり24年に結婚しました。

健太郎さん皆が不便と感じる事が我々は逆で、繁華街・レストラン・コンビニが遠いと、諦めるという選択肢がある事に気付いたんです。

かおりさん都会、田舎とも良い面、悪い面有るけど、何を優先して暮らすか考えたとき、私たちの価値観はいなかにありました。人との繋がりが目に見えて出来て行くのが嬉しいし、楽しい。

健太郎さん日南での子育ては補助が手厚く大変有難い。ただ、バスで友達の所に遊びに行く姿は不安に感じる。

かおりさん小児科がないのは仕方ない。それより大自然の中で五感をフル活用して体の土台作りができる方が貴重、都会のお母さんは結構孤独で、マンション住まいでは泣かすこともできないようです。こっちでは泣いていたら隣のおばさんの方が心配してくれる。保育料の無料にも都会の人はビックリ、憧れるところです。

子育てしやすい町と言ったインパクトある事をもっと宣伝して女性を呼び込むことが必要では。

健太郎さん大きな公園が有ったらと思う、木の町の特性を活かした木の遊具を揃えた他にない公園がいいナ、近隣からも来て貰えるんじゃないかな。

かおりさん道の駅のレストランで働いていますが、道の駅に来られるのが目的でない方もおられるので、何かのついでの方策も考えないと。

健太郎さん米の作り手がいなくなった時、若者に負担が来る。都会でかつての自分みたいにくすぶっている若者を呼び寄せたい。

かおりさん移住者の受け入れに協力できることが有ったら手伝いたい。

移住者目線で暮らしのサポートをリレーするシステム作りが出来たらいいナ、何に困ったか、何が役立ったかを伝えたい。

瑛介くん（右）翔くん（左）と笑顔で

表紙の紹介

日南小学校5年生（26名）は、総合学習の時間に、足羽邦穂さん（霞）の田んぼをお借りて毎年もち米づくりをしています。

田植え、稲刈り、脱穀。冬には餅つきやおこわをつくります。

編集後記

9月定例会は、前年度の決算審査を行うために議会の会期が長く、議員も執行部も緊張の日々が続く。

町の執行部と議会は、安全走行のための自動車のデフギャー（差動装置）に似ていることから車の両輪と言われる。より良い方向に進むためには多様な考えを調整することが大切だからである。

初めての18歳選挙権が行われた参院選から3ヶ月。「合区」にしても1票の格差の「違憲状態」との判決が下されている。

議会制民主主義の根幹にかかわる選挙制度こそ早急に解決すべき議会人の課題である。

議会広報調査特別委員会

委員長　久代　安敏
副委員長　足羽　覚
委員　大西　保
〃　近藤　仁志
〃　福田　稔

議会および議会だよりについて、ご意見をおよせください。　メールアドレス／s0800@town.nichinan.lg.jp